

宣誓

本日は大変お忙しい中、新入職員歓迎式を開催して頂きまして、誠にありがとうございます。また、小口理事長をはじめ、多くの方々のご臨席を賜りましたことを心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの影響により、新入職員全員が同じ場に集まることは叶いませんでしたが、こうして原子力機構職員の一員として迎えて頂いたことを心より感謝し、大変嬉しく思っております。理事長からの温かい励ましのお言葉を頂き、深く感銘を受けると同時に、職員としての責任を実感し、身が引き締まる思いです。

東日本大震災の時、私は中学1年生で、ただ無事に家に帰りたいという思いだけで、福島第一原子力発電所で起こっていることを十分に理解できていたわけではありませんでした。それから11年という月日が経ち、原子力機構に勤める立場となり、先月の3月16日に発生した地震により頻繁に流れる原子力発電所関連のニュースを見て、国民の皆様からの視線が国内唯一の原子力の総合研究機関であるこの原子力機構に強く注がれている事をひしひしと感じました。

私達は本日より、原子力機構の一員として新たな第一歩を踏み出します。そして、将来ビジョン「JAEA2050+」を基に、原子力の安全性を追求すると共に、新たな活用を見出して未来の社会に貢献するという重要な役割を私たちが担っていると思っています。

私は業務を進める上で、上司・同僚たちとの連携が非常に大事だと思っており、大切にしている言葉が「ほうれんそう」です。この言葉を常に忘れずに日々精進して、一日でも早く国民の皆様と先輩職員の方々の期待に応えられるよう頑張りたいと思いますので、何卒ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、スローガンである「高い志、豊かな発想、強い意志」を意識しながら日々の業務に務め、原子力科学技術の更なる発展に尽力することをここに誓います。

令和4年4月4日
新入職員代表 生田目望